

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム
第19回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2021) 開催について

配布日時：2020年11月17日 14時

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム

国立研究開発法人物質・材料研究機構

ナノテクノロジープラットフォームセンター

最先端のナノテクノロジー施設・装置を持つ研究機関が連携して、全国的な設備の共用体制を構築する「文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業」では、今年度の主要な研究成果やナノテクノロジーに関する最新動向をご紹介する「第19回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2021)」を、12月11日に東京ビッグサイト会議棟にて開催いたします。

今回は、コロナ禍における開催となりましたので、人数を制限した会場での発表をオンラインで配信するハイブリッド開催とします。

1. 主な講演内容

IoTを駆使した超スマート社会の実現 (Society 5.0)、さらには、持続可能な開発目標達成のための科学技術イノベーション (STI for SDGs) 推進のため、ナノテクノロジーは必要不可欠な基盤技術としてすでに定着しています。一方、コロナ禍におけるニューノーマル時代の研究開発に向け、プラットフォームの果たす役割を考えることも急務となっています。

こうした背景から、単なるリモート実験・操作に留まらない新しい発想に基づく装置とデータの利活用による研究開発力の向上が求められるところです。今回の「ナノテクノロジー総合シンポジウム」では、先端共用施設から得られる膨大なデータを中心に据えたデジタルトランスフォーメーション (DX) の新たな展開と可能性、特にマテリアル研究開発への寄与を展望します。

まず、大学の立場から「次世代プラットフォームへのメッセージ」を五神真東京大学総長から頂きます。続く特別講演では、特に重視される人材育成に視点を置き、研究基盤強化を図る展望について、自然科学研究機構の川合眞紀分子科学研究所所長からご発表頂きます。

午前の後半では、米国の施設共用と研究開発の接点に関する最新の動向について、Cornell University の Lynn Rathbun 先生にご発表頂きます。海外招待講演の二人目は、ベルギーの Université catholique de Louvain の Gian-Marco Rignanese 教授から、マテリアルデータベースの利活用を助けるアプリケーションインターフェースを中心に欧州での取り組み状況を紹介していただきます。

午後は基調講演として、企業における研究現場で進み始めたデータ活用とDXについて、日立製作所の長我部様よりご発表があります。続くセッションでは、ニューノーマル時代における研究開発のあるべき姿について、北海道大学の高橋啓介准教授、北陸先端科学技術大学院大学の谷池俊明教授、日本電子(株)の有福和紀様より、ご発表いただきます。

2. 開催概要

- (1) 開催日時：2020年12月11日(金) 10:00-17:10 参加費：無料
- (2) 場 所：東京ビッグサイト 会議棟1階レセプションホール (東京都江東区有明)
- (3) 使用言語：英語/日本語 (同時通訳付)
- (4) 主 催：文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム
国立研究開発法人物質・材料研究機構ナノテクノロジープラットフォームセンター

3. 「文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業」について

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業は、微細構造解析、微細加工、及び分子・物質合成の3つの分野で最先端のナノテクノロジー施設・装置を有する25法人が、全国の産学官の研究者へ利用機会を提供し、知識を共有することに拠り、イノベーションにつながる研究成果の創出を目指す文部科学省の委託事業です。（URL: <https://www.nanonet.go.jp/>）

4. お問い合わせ先

シンポジウムに関すること：

〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-2-1

国立研究開発法人 物質・材料研究機構 ナノテクノロジープラットフォームセンター

TEL: 029-859-2777 E-mail: JAPANNANO@nims.go.jp

広報に関すること：

国立研究開発法人 物質・材料研究機構 経営企画部門広報室

TEL: 029-859-2026 E-mail: pressrelease@ml.nims.go.jp

参加申込：シンポジウムへの参加をご希望の方は下記URLよりお申込ください。

<https://www.nanonet.go.jp/japannano/2021/>